

三重県民の森自然学習展示館改修工事 (I)

■ 図面目録

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
01	A00 表紙・図面目録	41	A41 展示物撤去図 (3)	61	A61 耐力壁 構造標準図	74	E01 電気設備工事特記仕様書 (1)
02	A01 特記仕様書 (1)	42	A42 展示物撤去図 (4)	62	A62 接続部分 構造標準図 (1)	75	E02 電気設備工事特記仕様書 (2)
03	A02 特記仕様書 (2)	43	A43 展示物撤去図 (5)	63	A63 接続部分 構造標準図 (2)	76	E03 盤結線図・器具姿図
04	A03 特記仕様書 (3)	44	A44 展示物撤去図 (6)	64	A64 接続部分 構造標準図 (3)	77	E04 幹線・動力・コンセント設備 平面図 (改修前・改修後)
05	A04 特記仕様書 (4)	45	A45 展示物撤去図 (7)	65	A65 授乳室・倉庫・受付 伏図	78	E05 幹線・動力・コンセント設備 上部平面図 (改修前・改修後)
06	A05 特記仕様書 (5)	46	A46 展示物撤去図 (8)	66	A66 授乳室・倉庫・受付 軸組図	79	E06 電灯設備 平面図 (改修前・改修後)
07	A06 仕上表 (改修前・改修後)	47	A47 展示物撤去図 (9)	67	A67 授乳室・倉庫・受付 壁量計算・金物指示図	80	E07 電灯設備 上部平面図 (改修前・改修後)
08	A07 配置図・付近見取図・求積図	48	A48 展示物撤去図 (10)	68	A68 展示スペース 伏図・軸組図	81	E08 弱電設備 平面図 (改修前・改修後)
09	A08 平面図 (改修前・改修後)	49	A49 展示物撤去図 (11)	69	A69 絵本スペース 伏図・軸組図・部分詳細図	82	E09 弱電設備 上部平面図 (改修前・改修後)
10	A09 上部平面図 (改修前・改修後)	50	A50 展示物撤去図 (12)	70	A70 高台1 伏図・軸組図		
11	A10 立面図・断面図 (改修前)	51	A51 展示物撤去図 (13)	71	A71 高台2 伏図・軸組図	83	M01 機械設備工事特記仕様書 (1)
12	A11 立面図・断面図 (改修後)	52	A52 展示物撤去図 (14)	72	A72 高台3 伏図・軸組図	84	M02 機械設備工事特記仕様書 (2)
13	A12 矩計図 (改修前)	53	A53 展示物撤去図 (15)	73	A73 伏図・軸組図 (改修前・改修後)	85	M03 床暖房設備 凡例・機器表・平面図 (改修後)
14	A13 矩計図 (改修後)	54	A54 展示物撤去図 (16)			86	M04 空調・換気設備 機器表 (改修前・改修後)
15	A14 天井伏図 (改修前・改修後)	55	A55 展示物撤去図 (17)			87	M05 空調・換気設備 平面図 (改修前・改修後)
16	A15 上部天井伏図 (改修前・改修後)	56	A56 展示物撤去図 (18)				
17	A16 平面詳細図 (改修前)	57	A57 展示物撤去図 (19)				
18	A17 平面詳細図 (改修後)	58	A58 展示物撤去図 (20)				
19	A18 展開図 (1・改修前)	59	A59 展示物撤去図 (21)				
20	A19 展開図 (2・改修前)	60	A60 仮設計画図				
21	A20 展開図 (改修後)						
22	A21 授乳室・倉庫・受付・展示スペース 平面詳細図						
23	A22 授乳室・倉庫・受付・展示スペース 矢視図・矩計図						
24	A23 授乳室・倉庫・受付・展示スペース 展開図						
25	A24 建具表 (改修前・改修後)						
26	A25 絵本スペース 平面詳細図・立面図						
27	A26 絵本スペース スロープ・本棚詳細図						
28	A27 高台1・2・3 平面詳細図・部分詳細図						
29	A28 高台1・2・3 下部平面詳細図・部分詳細図						
30	A29 高台1 平面詳細図						
31	A30 高台1 矩計図・すべり台詳細図						
32	A31 高台1 矩計図・階段詳細図						
33	A32 高台1 ステップ 階段詳細図						
34	A33 高台1 下部断面詳細図						
35	A34 高台2 平面詳細図						
36	A35 高台2 矩計図・部分詳細図						
37	A36 高台3 平面詳細図						
38	A37 高台3 矩計図・階段詳細図						
39	A38 高台3 ステップ 階段詳細図						
40	A39 展示物撤去図 (1)						
41	A40 展示物撤去図 (2)						

自然学習展示館内は令和2年9月から令和3年7月にかけて改修工事が行われ当図面のおり改修される予定です。

工事特記仕様書(改修)

Table with 2 columns: Item Name, Details. Includes project name (三重県民の森自然学習展示館改修工事), location (三重県三重郡菟野町大字千草地内), and construction details.

- 1 共通仕様
2 特記仕様
(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の () 内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

Main specification table with columns: Chapter, Item, Particular Items. Contains detailed requirements for construction standards, conditions, and materials.

Table with 2 columns: Item, Particular Items. Contains detailed requirements for materials, chemical substances, and safety measures.

Table with 2 columns: Item, Particular Items. Contains detailed requirements for safety, insurance, and site management.

3 防水 改修 工事	1 アスファルト 防水 (3.3.3) (表3.3.3)~ (表3.3.10)	<table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ PIB</td> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PIE</td> <td>・ E-1 ・ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ()</p> <p>(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1) 材質 ・ () ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A (スキンあり) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 厚さ ・ () ルーフトレンドリ及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>(3.3.3) (2) (4) (3.3.3) (3) 脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1) ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない ・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()</p> <p>(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ () 床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()</p> <p>(表8.1.5) こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 保護層 ・ 設ける ・ 設けない 屋上排水溝の適用 ・ 適用する 立上り保護 ・ 乾式保護材 () ・ れんが (材種 ・ JIS R1250)</p>	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3		・ PIE	・ E-1 ・ E-2		・ P2E		
	工 法	種 別	施 工 箇 所											
	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3												
	・ PIE	・ E-1 ・ E-2												
	・ P2E													
	2 改質アスファルト シート防水 (3.4.2)	改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ()</p> <p>断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1) 材質、厚さ () 図示 ()</p>												
	(3.4.3) (表3.4.1)~ (表3.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> <tr> <td>・ M4AS</td> <td>・ AS-T1 ・ AS-T2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ AS-J2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2				・ AS-J2		
	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料										
	・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2												
		・ AS-J2												
3 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (3.5.2)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない <p>ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ・ ()</p> <p>絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()</p> <p>断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ () ・ 図示 ()</p>													
(3.5.3) (表3.5.1)~ (表3.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>種 別</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> <tr> <td>・ S3S</td> <td>・ S-F1 (S1-F1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3S1</td> <td>・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)			・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)			
工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料											
・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)													
・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)													
(3.5.3)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない													
(3.5.4)	既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示 (図面番号:) 増張り ・ 図示 (図面番号:) 保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)													
4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3) (1)	<table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> <tr> <td>・ POX</td> <td>・ X-1 ・ X-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ L4X</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ POX	・ X-1 ・ X-2			・ L4X				
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料											
・ POX	・ X-1 ・ X-2													
・ L4X														
(3.6.3) (2)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ()) ・ 設けない													
5 既存防水層表面 の仕上塗装の除 去 (3.2.6) (3) (4) (3.2.6) (3) (4)	(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない													
6 シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	材料 種類 材種 施工箇所 ・ SR-1 シリコン系 ガラスルーフィング ・ MS-2 変成シリコン系 金属⇔木													

(3.7.4~7)	工法 ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法	・ 拡張シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法					
(3.7.8)	シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験	・ 引張接着性試験 ・ 行わない					
7 とい (3.8.2) (表3.8.1) (表3.8.2)	材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ ()	・ 配管用鋼管 (白管)					
	とい受金物及び足金物 <table border="1"> <tr> <th>といの材種</th> <th>形状</th> <th>取付け間隔</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	といの材種	形状	取付け間隔			
といの材種	形状	取付け間隔					
8 アルミニウム製 笠木 (3.9.2) (3) (表3.9.1)	部材の種類 ・ 押し出し250形 ・ 押し出し300形 ・ 押し出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())						
(3.9.3) (2)	固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ ()						
(3.9.2) (4) (3.9.3)	表面処理 ・ () 工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:) 笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。						
9 保証書	<table border="1"> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工事区分	材料名	保証年数			
工事区分	材料名	保証年数					
4 建 具 改 修 工 事	1 改修工法 (5.1.3) ・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法						
2 防火戸 (5.1.4)	・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法						
3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない						
4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)						
5 ラインボックス等 (5.1.6) (3)	・ 再使用する ・ 再使用しない						
6 アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1)	外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)						
(表5.2.2)	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外) ・ BA-1 ・ BA-2 ・ () ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) ・ BB-1 ・ BB-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()						
7 網戸 (5.2.3) (5)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ						
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:) 水切り ・ 図示 (図面番号:) ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) 丁番 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)						
9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)						
(5.4.4)	・ H>2400又はW>950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)						

10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3) (1) (5.2.3) (1)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H>2400又はW>950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)	
11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)	
(5.6.3)	材料 ・ SUS304 ・ ()	
(5.6.4)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()	
(5.6.5)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	
12 建具用金物 (5.7.2)	金物の見え掛かり部等の材質等 ・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号:)	
(5.7.4)	マスターキー 製作する 引換用鍵箱 必要	
13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)	駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレ出入口) ・ 図示 (図面番号:)	
(5.8.3) (表5.8.4)	引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:)	
(5.8.3) (7)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし	
14 自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()	
15 重量シャッター ー (5.10.2)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 (Pa以上)	
(5.10.2) (3) (表5.10.1)	開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式	
(5.10.2) (6) (5.10.3)	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()	
16 軽量シャッター ー (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()	
17 オーバーヘッ ドドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	
(5.12.3)	ガイドレール ・ 浴融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	
18 板ガラス (5.13.2) (1) (5.13.4)	・ 図示	
19 ガラス留め材 (5.13.2) (2)	・ シーリング (アルミニウム製建具) ・ ガasket () ・ なし (木製建具)	
20 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による	

5 内装改修工事

1 一般事項 (6.1.3) (2) 既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲
(6.1.3) (3) 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
(6.1.3) (5) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2) (1) (7) 既存床仕上げ材の除去等
(6.2.2) (1) (4) 合成樹脂塗料床材の除去等
(6.2.2) (3) 改修後の床の清掃範囲
3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)
4 木下地等 (6.5.1) (3) (表6.5.1) (表6.5.2) (6.5.2) (1) (4) (表6.5.3) (6.5.2) (2) (7)
(6.5.2) (2) (4) (6.5.2) (2) (9) (表6.5.4)
(6.5.2) (3) (7)
(6.5.2) (3) (4)
(12.2.1)

(6.5.2) (6)
(6.5.3) (1)
(6.5.3) (2)
(6.5.5) (1)
(6.5.5) (2)
5 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)
(6.6.4)
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)
7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2) (1)
8 カーペット敷き (6.9.3) (1) (表6.9.1)
(6.9.2) (2) (表6.9.2)
(6.9.2) (3)
(6.9.2) (4) (表6.9.2)
(6.9.2) (5)
(6.9.2) (6)
(6.9.3) (3)
(6.9.3) (5)
9 合成樹脂塗料 (6.10.3) (2) (a) (表6.10.4) (6.10.3) (2) (b) (6.10.3) (3) (表6.10.5) ~ (表6.10.8)
10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)

(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)
(6.11.6) (3)
1.1 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)
1.2 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)
(6.13.2) (8)
(6.13.3) (5) (9)
(6.13.3) (7) (7) (表6.13.5)
1.3 壁紙張り (6.14.2)
1.4 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)
1.5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)
(6.16.3) (2)
6 塗装改修工事
(7.1.3)
(7.2.1) ~ (7.2.2) (表7.2.1) ~ (表7.2.2)
3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1) ~ (表7.3.4)
4 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3) ~ (7.4.4) (表7.4.1) ~ (表7.4.3)

自然学習展示館内は令和2年9月から令和3年7月にかけて改修工事が行われ当図面のとおり改修される予定です。

5	クリヤラッカー塗り(DL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別	木部	・ A種	・ B種															
		6	アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別	・ A種	・ B種														
				7	耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)	上塗り等級	・ 1級(フッ素系)	・ 2級(シリコン系)	・ 3級(ポリウレタン系)											
						下地	種別													
						鉄鋼面	・ A種	・ B種	・ C種											
						亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種											
						コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種	・ A-2種	・ B-1種	・ B-2種	・ C-1種	・ C-2種								
						8	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)	種別	下地	種別										
								コンクリート、モルタル、石膏、せっこうボード、その他ボード面	・ A種	・ B種	・ C種									
								木部(屋内)	・ A種	・ B種	・ C種									
								鉄鋼面(屋内)	・ A種	・ B種	・ C種									
								亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種	・ B種	・ C種									
								9	合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	・ A種	・ B種	・ C種							
										しみ止め	・ ()									
10	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)									種別	・ A種	・ B種	・ C種							
		11	ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (7.12.2) (表7.12.1)							種別	・ A種	・ B種								
				12	オイルステイン塗り(OS) (7.13.2) (表7.13.1)					塗料	・ ()									
										13	木材保護塗料塗り(WP) (7.14.2) (表7.14.1)	種別	・ A種	・ B種(屋内用)						
												14	オイルステインクリアラッカー塗り(OSCL) (7.14.2) (表7.14.1)	種別	・ A種	・ B種				
														7	環境配慮改修工事	1	石綿含有建材の除去工事 (9.1.5)	石綿含有成形板の除去 除去対象範囲	○ 図示	
																		石綿含有せっこうボードの処分 埋立処分(管理型最終処分場)	○	
						石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分 埋立処分(安定型最終処分場)	・ 中間処理(溶融又は無害化による)													
						石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲	○ 図示													
						除去した石綿含有仕上塗材等の処分 埋立処分(管理型最終処分場)	・ 中間処理(溶融又は無害化による)													
						※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」(平成29年5月30日付け環水大発第1705301号)及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」(平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所)に基づき適切に処理すること。														
						天井 グラス#24kg/m3 t100敷込み	○													
						壁面 グラス#24kg/m3 t50 充填	○													
						8	地業工事	1	砂及び砂利 地業(4.6.2) (4.6.3)									砂利	・ 再生クラッシュラン	・ 切込砂利
砂	・ シルト																	・ 山砂	・ 川砂	・ 砕砂
施工範囲	・ 図示																			
厚さ(mm)	・ 60	・ ()																		
仕上がりレベルを計測し、記録すること。																				
2	床下防湿層 (4.6.2) (4.6.5)	施工範囲	・ 図示																	
		ポリエチレンフィルム厚さ	・ 0.15mm以上	・ ()																
		防湿層の重ね幅、250mm以上とする。																		

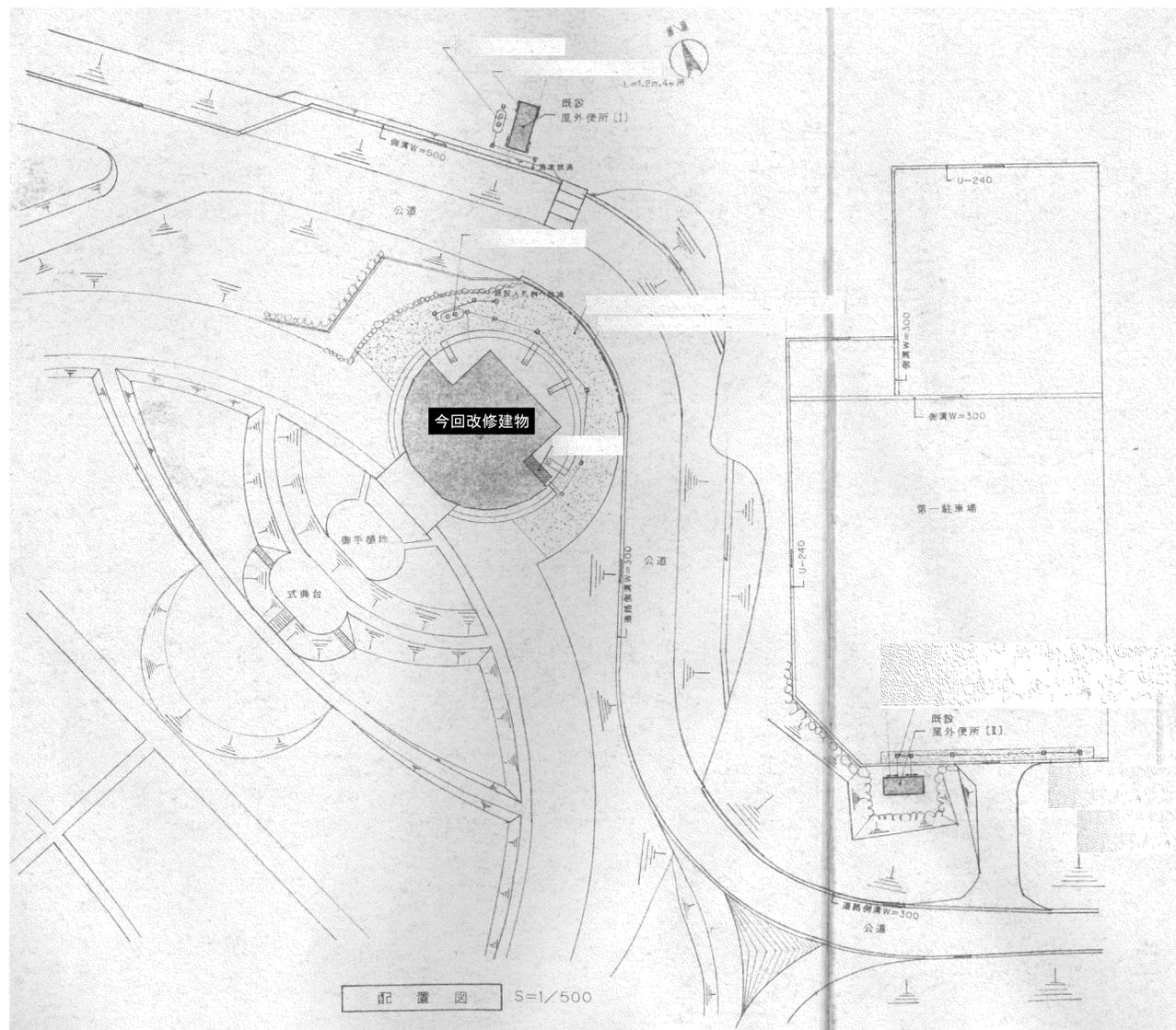
9	撤去工事	1	既存部分の撤去等 (8.21.2)	撤去の範囲	・ 図示	・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分	・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分	・ ()					
				既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置									
				本工事の範囲	・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分	・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。	・ ()						
				撤去範囲	・ 図示								
				2	既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)	既存構造体の撤去	撤去範囲	・ 図示(図面番号:)					
						はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置							
						既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断	鉄筋の切断	範囲	適用				
						・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号:)	・ 全ての撤去部分	・ ()	・ 適用なし			
						・ コンクリートの撤去範囲の周面より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号:)	・ 全ての撤去部分	・ ()	・ 適用なし			
						・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲	・ ()					
						はつりだした鉄筋の処置	・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。	・ ()					
						はつりだした鉄骨の処置	・ 発泡スチロール等で養生する。	・ ()					
						既存構造体コンクリート面の表層目荒らし	目荒らし程度	・ 平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。	・ 平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。	・ 図示(図面番号:)			
						10	鉄筋工事	1	鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による	種別	径(mm)	
・ SD295A	・ D10												
・ SD345													
・ SD390													
2	溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径	網目の形状、寸法							鉄線の径(mm)			
		90°未満の折曲げの内法直径	・ 図示(図面番号:)										
		3	加工 (8.3.2)	種別	径(mm)					部位			
				重ね継手	・ D16以下					仮設土間			
				ガス圧接	・ D19以上								
				4	鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)					主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・ 改修標準仕様書(8.3.4)(3)(7)による	・ 図示(図面番号:)	
										継手位置	・ 各部配筋参考図による	・ 図示(図面番号:)	
										先組み工法等	・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所につける		
										鉄筋の定着長さ	・ 改修標準仕様書(表8.3.4)による	・ (表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法	・ 図示(図面番号:)
										帯筋組立の形、継手及び定着	・ 図示(図面番号:)		
						鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	・ (40) mm						
						5	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) (表8.3.6)	種別	径(mm)	部位			
								重ね継手	・ D16以下	仮設土間			
								ガス圧接	・ D19以上				
6	各部配筋							・ 図示(図面番号:)					
								7	ガス圧接 (8.3.8)	圧接完了後の試験	超音波探傷試験	・ 行う	・ 行わない

11	コンクリート工事	1	コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	コンクリートの類別	・ I類	・ II類									
				普通コンクリートの設計基準強度	設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ							
				・ 21		・ 2.3t/m ³ 程度									
				・ ()											
				軽量コンクリートの設計基準強度	設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ							
				・ 36	・ 1種										
				・ ()	・ 2種										
				2	構造体コンクリートの仕上り (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5) (コンクリート)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類	・ A種	・ B種	・ C種						
						コンクリートの仕上りの平たんさ	・ a種	・ b種	・ c種						
						3	コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類	・ 普通ポルトランドセメント	・ 高炉セメントA種	・ シリカセメントA種	・ フライアッシュセメントA種	・ ()	・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種	適用箇所 ()
								骨材	アルカリシリカ反応性による区分	・ AL(コンクリート中のアルカリ総量を規制)	・ A(安全と認められる骨材を使用)				
								なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。							
								・ 特殊な骨材の使用	・ フェロニッケルスラグ細骨材	・ 鋼スラグ細骨材	・ 電気炉酸化スラグ骨材	・ 再生骨材H(普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)			
								12	あと施工アンカー工事	1	(あと施工アンカー)あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類	○ 金属系	○ セットの方式	・ 本体打込み式(○改良型
径及び埋込み長さ	・ 図示(図面番号:)														
引張耐力	・ 図示(図面番号:)														
せん断耐力	・ 図示(図面番号:)														
接合筋の種類・径・長さ	・ 図示(図面番号:)														
・ 接着系	○ カプセル型回転	・ 打撃式	・ 有機系									・ 無機系			
径及び埋込み長さ	・ 図示(図面番号:)														
引張耐力	・ 図示(図面番号:)														
せん断耐力	・ 図示(図面番号:)														
アンカー筋の種類	・ 図示(図面番号:)														
アンカー筋の新設壁内への定着長さ	・ 図示(図面番号:)														
あと施工アンカーの性能確認試験	・ 行う	・ 行わない													
2	あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔	埋込み配管等の探査の方法	○ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。	・ はつり出しによる。	・ ()									
		あと施工アンカーの施工確認試験	・ 実施する	○ 実施しない											
		試験方法	・ 引張試験機による引張試験	・ ()											
		1ロットの単位	・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと	・ ()											
		試験の箇所数	・ 1ロットに対し3本(無作為)	・ ()											
		確認強度	・ ()												
		場所打ちコンクリート壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ	種類	・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー	・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー									
		13	鉄骨工事	1	鉄骨製作工場 (8.1.5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場	・ J	・ R	・ M	・ H	・ S				
						2	鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の配置	○ しない	・ する					
								3	鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法	○ 角型鋼管: STKR400	○ 鋼板: SS400			
										4	高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用	・ トルシア形高力ボルト2種(S10T)	・ JIS形高力ボルト2種(F10T)	・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)

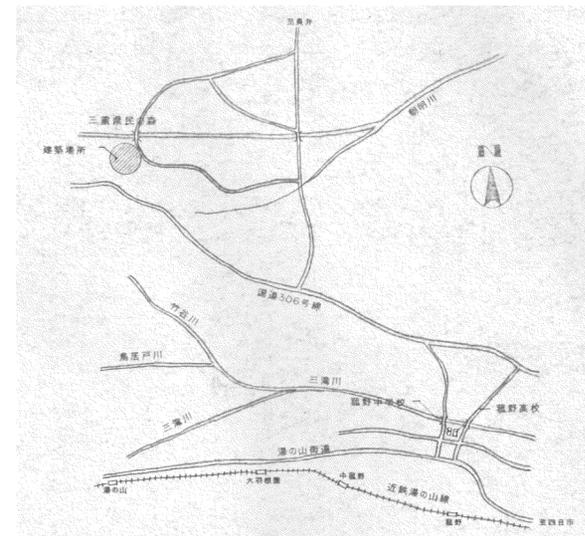
内部仕上表

改修前							改修後							
室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	
展示室	1通壁:	70-リングブロック t30【撤去】	木製 H100【既設のまま】	1通壁: 木軸組 t100【既設のまま】 合板 t5.5【既設のまま】	<	LGS下地【既設のまま】 合板 t5.5【撤去】	既設オレナー 一時取外し	木育ひろば	下地もみれ【新設】 +ビニル床シート(2)貼 t2.0【新設】 一部 転ばし床組 H90【新設】 +構造用合板 t24【新設】 +圧密70-リング(2)貼 t12【新設】 一部 東立て床組 H360【新設】 +構造用合板 t12+t12【新設】 +圧密70-リング(1)貼 t12【新設】	スチ H100 WP塗【新設】 一部 ビニル巾木 H100【新設】	LGS【一部新設】 +耐水合板 t12【新設】 +スチ小巾板 t12 WP塗【新設】 壁見切:スチ H25 WP塗【新設】	LGS【一部新設】 +GB-R t12.5 ビニルクロス貼【新設】 一部 木下地【新設】 +ビニ合板 t12 WP塗【新設】 柱型: 鉄鋼面SOP塗替え【新設】	LGS【一部新設】 +GB-D(T) t9.5【新設】 塩ビ製廻縁【新設】 上り框:スチ H90 WP塗【新設】 床点検口:口450【新設】 既設オレナー再取付	
	5通壁:		木製 H100【撤去】	6通壁: 木軸組 t100【撤去】 合板 t5.5【撤去】	<		下地鉄骨【撤去】							
	内壁:		木製 H100【撤去】	内壁: LGS下地【既設のまま】 +GB-R t12【撤去】	<									
	R壁:		木製 H100【撤去】	R壁: 木軸組 t100【撤去】 +小巾板 t12【撤去】	<	木製ルバー-天井【撤去】								
研修室	X2通壁:	70-リングブロック t30【撤去】 タイルタイル t6.5【撤去】	木製 H100【既設のまま】	GB-R t12【既設のまま】 +布加し【既設のまま】	<	LGS下地【撤去】 +GB-R t9.0 ビニルクロス貼【撤去】		受付	転ばし床組 H90【新設】 +構造用合板 t24【新設】 +圧密70-リング(2)貼 t12【新設】	一部 スチ H100 WP塗【新設】		木下地【新設】 +ビニ合板 t12 WP塗【新設】 一部 木下地【新設】 +GB-R t12.5 ビニルクロス貼【新設】	柱・梁:木部 WP塗【新設】	受付カウンター:W1,980×D600×H900【新設】
	内壁:		木製 H100【既設のまま】	GB-R t12【既設のまま】 +布加し【既設のまま】	<		木製カーテンボックス【撤去】	管理者休憩室	転ばし床組 H90【新設】 +構造用合板 t24【新設】 +圧密70-リング(2)貼 t12【新設】			木下地【新設】 +ビニ合板 t12 WP塗【新設】	木製ルバー-梁:木部 WP塗【新設】 水平ブレース:鉄鋼面 SOP塗【新設】	
	5通壁:		木製 H100【撤去】	GB-R t12【撤去】 +布加し【撤去】	<			倉庫	下地もみれ【新設】 +ビニル床シート(1)貼 t2.0【新設】	一部 スチ H100 WP塗【新設】		木下地【新設】 +GB-R t12.5 素地【新設】	木製ルバー-梁:木部 WP塗【新設】 水平ブレース:鉄鋼面 SOP塗【新設】	上り框:スチ L950×H90 WP塗【新設】
	間仕切壁:		木製 H100【撤去】	GB-R t12【撤去】 +布加し【撤去】	<			授乳室	転ばし床組 H90【新設】 +構造用合板 t24【新設】 +圧密70-リング(2)貼 t12【新設】			木下地【新設】 +ビニ合板 t12 WP塗【新設】	ビニ合板 t12 WP塗【新設】 梁・火打:木部 WP塗【新設】	室名札(4・5)【新設】
前室	X2通壁:	70-リングブロック t30【撤去】 タイルタイル t6.5【撤去】	木製 H100【既設のまま】	1通壁: 合板 t5.5【既設のまま】	<	LGS下地【撤去】 +合板 t5.5【撤去】	木製カーテンボックス【撤去】	展示スペース	下地もみれ【新設】 +ビニル床シート(2)貼 t2.0【新設】			木下地【新設】 +ビニ合板 t12 WP塗【新設】	水平ブレース:鉄鋼面 SOP塗【新設】	
	間仕切壁:		木製 H100【撤去】	間仕切壁: LGS下地【撤去】 +合板 t5.5【撤去】	<		下地鉄骨【撤去】							
	5通壁:		木製 H100【撤去】	6通壁: 合板 t5.5【撤去】	<									
	R壁:		木製 H100【撤去】	R壁: 木軸組 t100【撤去】 小巾板 t12【撤去】	<	間仕切壁: 木軸組 t100【撤去】 +合板 t5.5【撤去】	下地鉄骨【撤去】 70-リング天井【撤去】							
ホール	R壁部分:	下地もみれ【一部撤去】 +レングタイル【一部撤去】	木製 H100【一部撤去】	小巾板 t12【一部撤去】	<	木製ルバー-天井【撤去】		ホール	【既存のまま】	【既存のまま】		柱型: 鉄鋼面SOP塗替え	LGS下地【一部新設】 GB-R t9.5+DR t9.0【一部新設】 塩ビ製廻縁【一部新設】	木製カーテンボックス L4,300【新設】 床見切 L1,900×2【新設】 室名札(6)【新設】
	一般部分:	下地もみれ【一部撤去】 +レングタイル【一部撤去】	木製 H100【既存のまま】	小巾板 t12【既存のまま】	<	LGS下地【一部撤去】 +GB-R t9.0+DR t9.0【一部撤去】 塩ビ製廻縁【一部撤去】	既設カーテンレール(シングル)【撤去】							

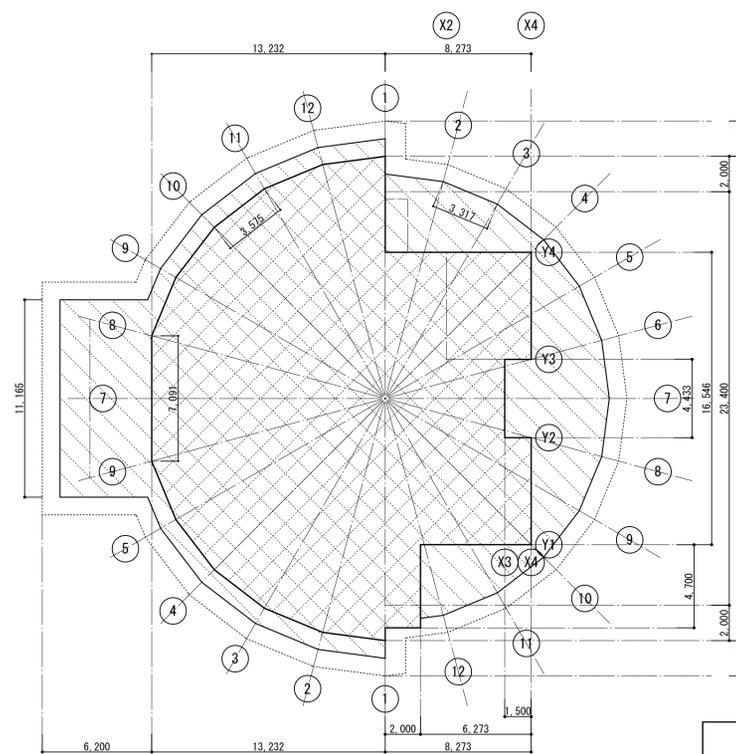
共通事項	記号名称 【防火材料認定番号】	略名	木材利用(詳細番号)																								
1. 付属物は ○印のついたものを適用する。 2. 詳細番号で例えば(2-02-4)は建築工事標準詳細図の詳細番号を、(特-2-02)は共通詳細図の詳細番号を示す。 3. 特記以外の木鉄部の塗装はSOPとする。(和室回り木部の塗装は除く)ただし、上がりかまちはCL仕上げとする。 4. 下地区分 C:鉄筋コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALCパネル下地、押出成形セメント板下地 S:軽鋼骨下地 5. 特記以外の柱、はり、下がり壁の仕上げは壁仕上げによる。 6. 付属物のうち、室名表示、誘導標識、ピクトグラフ、床点検口、消火器ボックス等は平面図又は平面詳細図による。 7. 付属物のうち、ブラインドボックス、カーテンボックス、カーテンレール、天井点検口等は天井伏図による。 8. 特記以外の材料の厚さは右表による。 9. 特記なき限り、幅木の高さは60mmとする。 10. 特記なき限り、天井及び遮音壁取合いは特-2-23、特-3-11による。 11. しゃ音壁の位置は平面図による。 12. コンクリート打放し出隅・コンクリート目地は特-2-02による。 13. セッコウボード等の壁の出隅部分のコーナー保護金物は亜鉛鉄板製穴明けL形金物とする。 14. 木育ひろばの外周部壁(1通壁含む)は70-リング 24K t50充填とする。木育ひろばの天井裏は70-リング 24K t100充填とする。	※防火材料は個別認定品も使用可 GB-R :セッコウボード【9.5mm:QM-9828,12.5mm:NM-8619】 GB-NC :不燃積層セッコウボード【NM-8613】 GB-NC(T):不燃積層セッコウボード(トラバーチン模様)【NM-8613】 GB-S :シージングセッコウボード【QM-9826】 GB-F :強化セッコウボード【NM-8615】 GB-L :セッコウラスボード【NM-8617(ガラス所定塗り厚を記載すること。)】 GB-D(W):化粧セッコウボード(木目模様)【QM-9824】 GB-D(T):化粧セッコウボード(トラバーチン模様)【QM-9824】 FK :けい酸カルシウム板【NM-8578】 化粧FK :化粧けい酸カルシウム板【NM-8579】 DR :ロックウール化粧吸音板【NM-8599】 RW-B :ロックウール吸音ボード GW-B :グラスウール吸音ボード	塗料 SOP :合成樹脂調合ペイント塗り CL :クリヤラッカー塗り NAD :アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り DP :耐水性塗料塗り EP-G:つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP :合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-T:合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り UC :ウレタン樹脂ワニス塗り OS :オイルステイン塗り WP :木材保護塗料塗り 材料の厚さ(mm)(特記なき限り下記とする) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>壁</th> <th>天井</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GB-R, GB-S, GB-NC</td> <td>12.5</td> <td>9.5</td> <td>壁二重張りの場合の下張りには GB-R t12.5とする</td> </tr> <tr> <td>GB-NC(T)</td> <td></td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DR</td> <td></td> <td>9</td> <td>天井二重張りの場合の下張りには GB-R t9.5とする</td> </tr> <tr> <td>GB-D(W)</td> <td></td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FK</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>JIS K 6903</td> </tr> </tbody> </table>	材料名	壁	天井	備考	GB-R, GB-S, GB-NC	12.5	9.5	壁二重張りの場合の下張りには GB-R t12.5とする	GB-NC(T)		9.5		DR		9	天井二重張りの場合の下張りには GB-R t9.5とする	GB-D(W)		9.5		FK	6	6	JIS K 6903	・床:フローリング張り 複合フローリング、フローリングボード ・1-02-6・1-02-7・1-02-8・1-02-9 フローリングブロック ・1-02-10 モザイクパーケット ・1-02-11・1-02-12・1-02-13 仕上材の種類、樹種及び厚さ ※特記仕様書 19章 内装工事 項目8 フローリング 張りによる。 ・改修特記仕様書 6章 内装改修工事 項目19 フローリング 張り ・ガラスフロア床下地材の厚さ()mm ・幅木:木製幅木 ・2-11-3 ・2-11-4 高さ(mm) ※60・75 樹種() 塗装の有無 ※有(種別())・無 ・壁:化粧合板壁 ・2-13-3 ・2-13-4 樹種() 天然木縁付合板の厚さ(mm) ※6 塗装の有無 ・有(種別())・無 ・天井:化粧合板(天然木縁付) ・3-01-5 ・3-01-6 樹種() 下張りボードの材質、厚さ(mm) ・ ・カウンター:木製受付カウンター 8-11-1 樹種() 塗装の有無 ・有(種別())・無 ・コーナガード:木製コーナガード ・8-12-1 ・8-12-2 樹種() 塗装の有無 ・有(種別())・無 H(mm) ・1,400 ・襖板、額縁:木製襖板、木製額縁 ・4-52-2 ・4-52-5 塗装の有無 ※有(種別 ※SOP)・無
材料名	壁	天井	備考																								
GB-R, GB-S, GB-NC	12.5	9.5	壁二重張りの場合の下張りには GB-R t12.5とする																								
GB-NC(T)		9.5																									
DR		9	天井二重張りの場合の下張りには GB-R t9.5とする																								
GB-D(W)		9.5																									
FK	6	6	JIS K 6903																								



配置図
S=1/500(A1)・1/1000(A3)



付近見取図

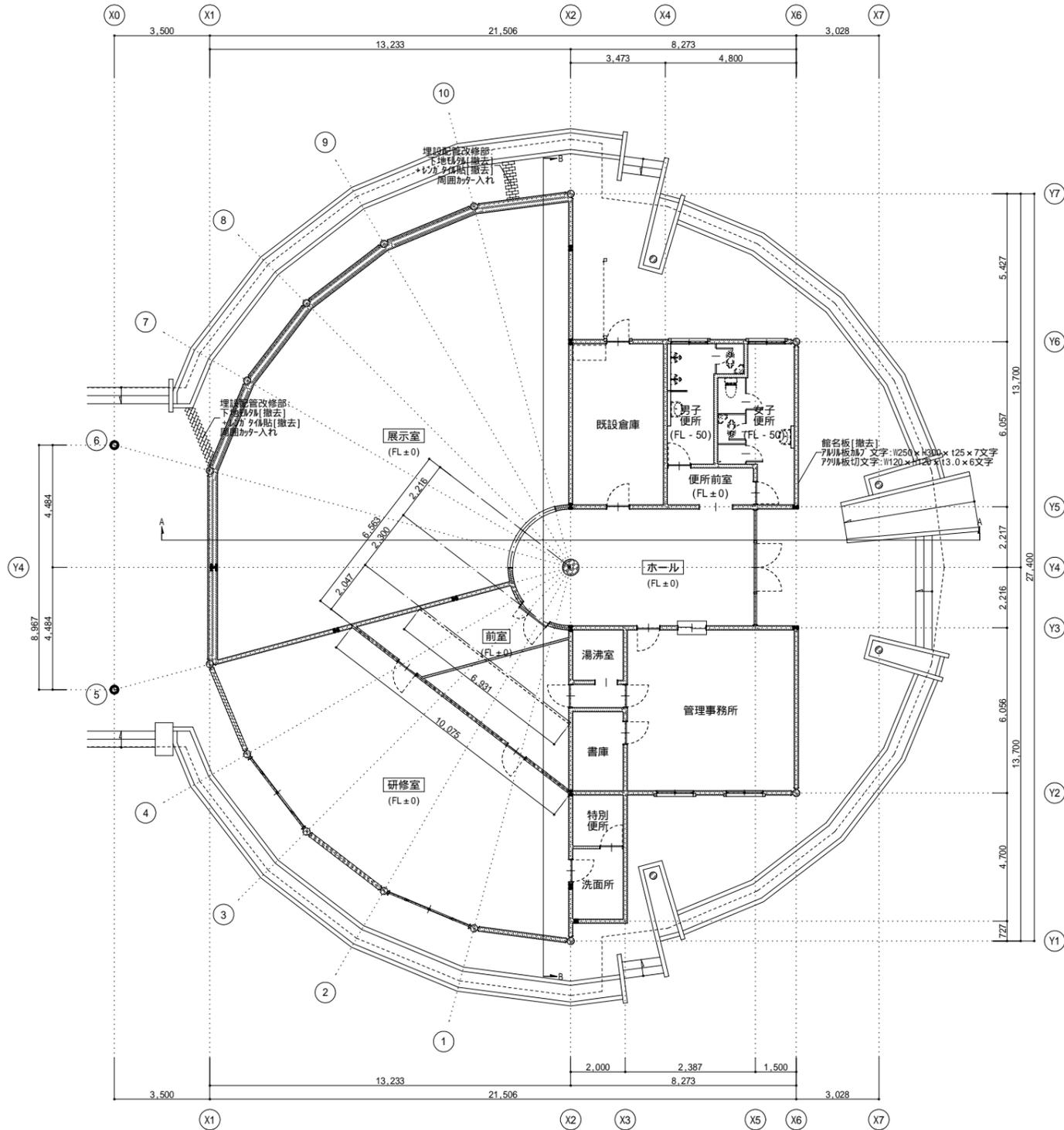


求積図
S=1/200(A1)・1/400(A3)

■凡例

-  床面積
-  建築面積算入部分

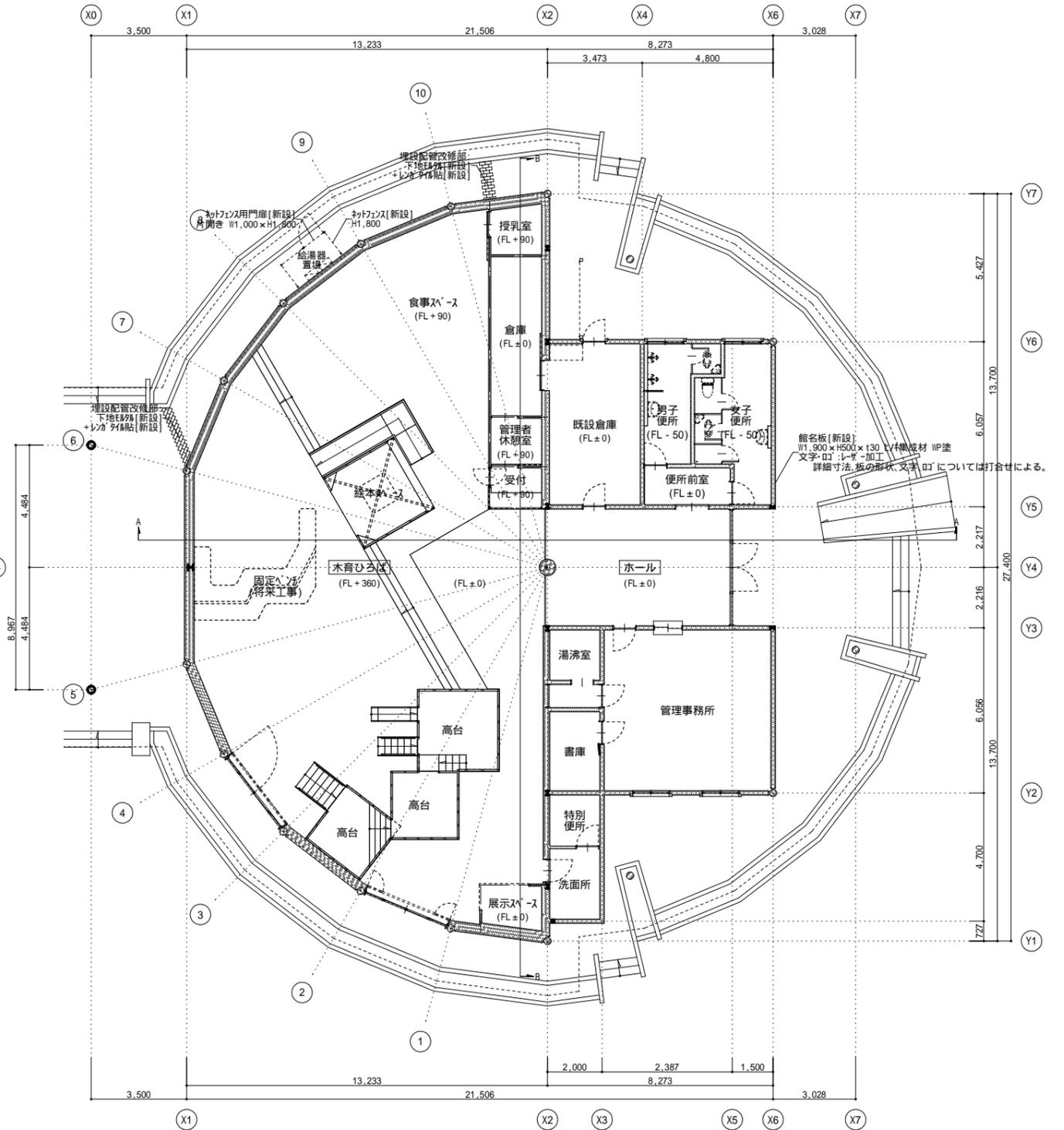
床面積	429.327 m ²	
建築面積	632.431 m ²	



凡例
 --- 改修室を示す

○ 平面図(改修前)

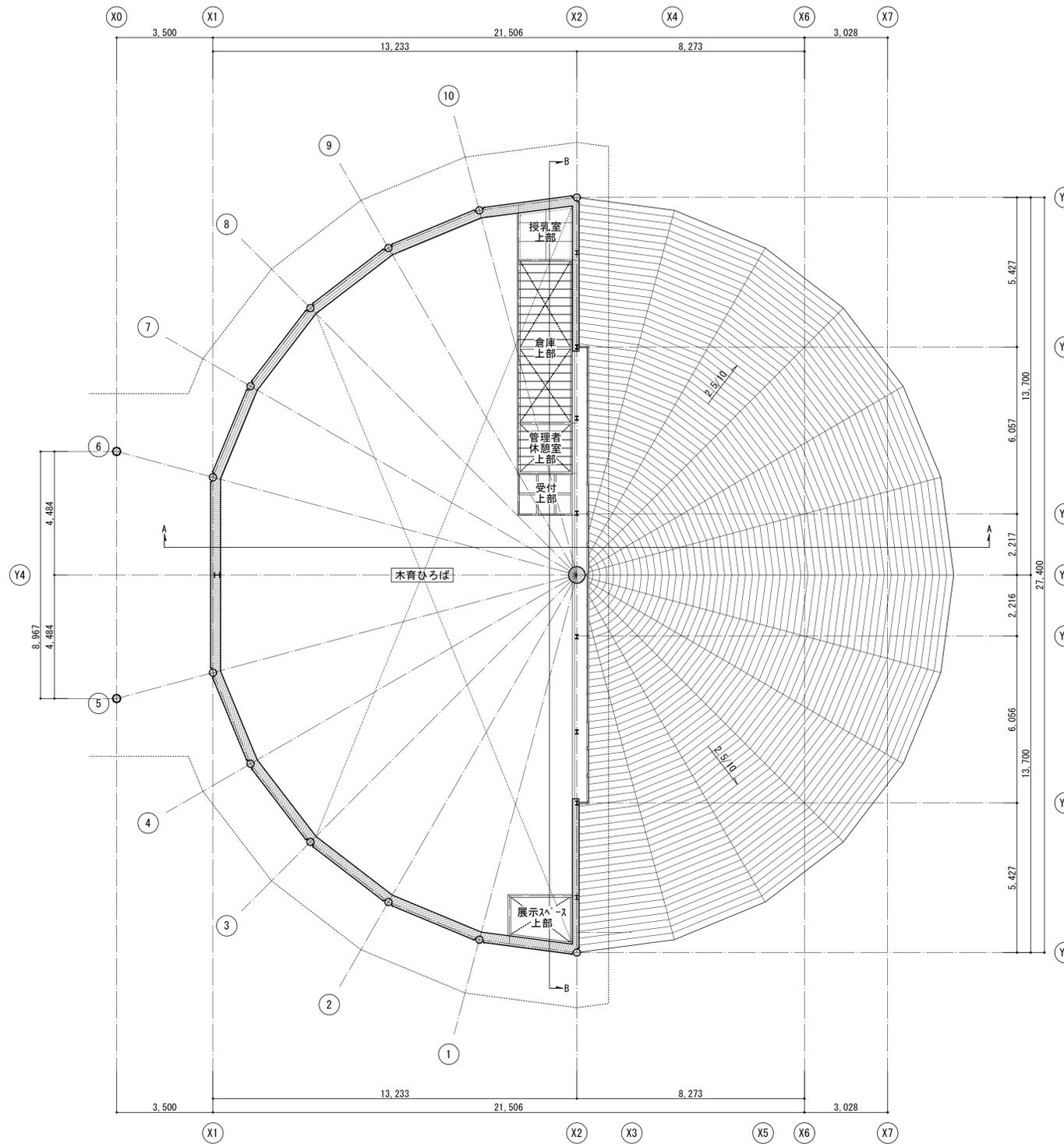
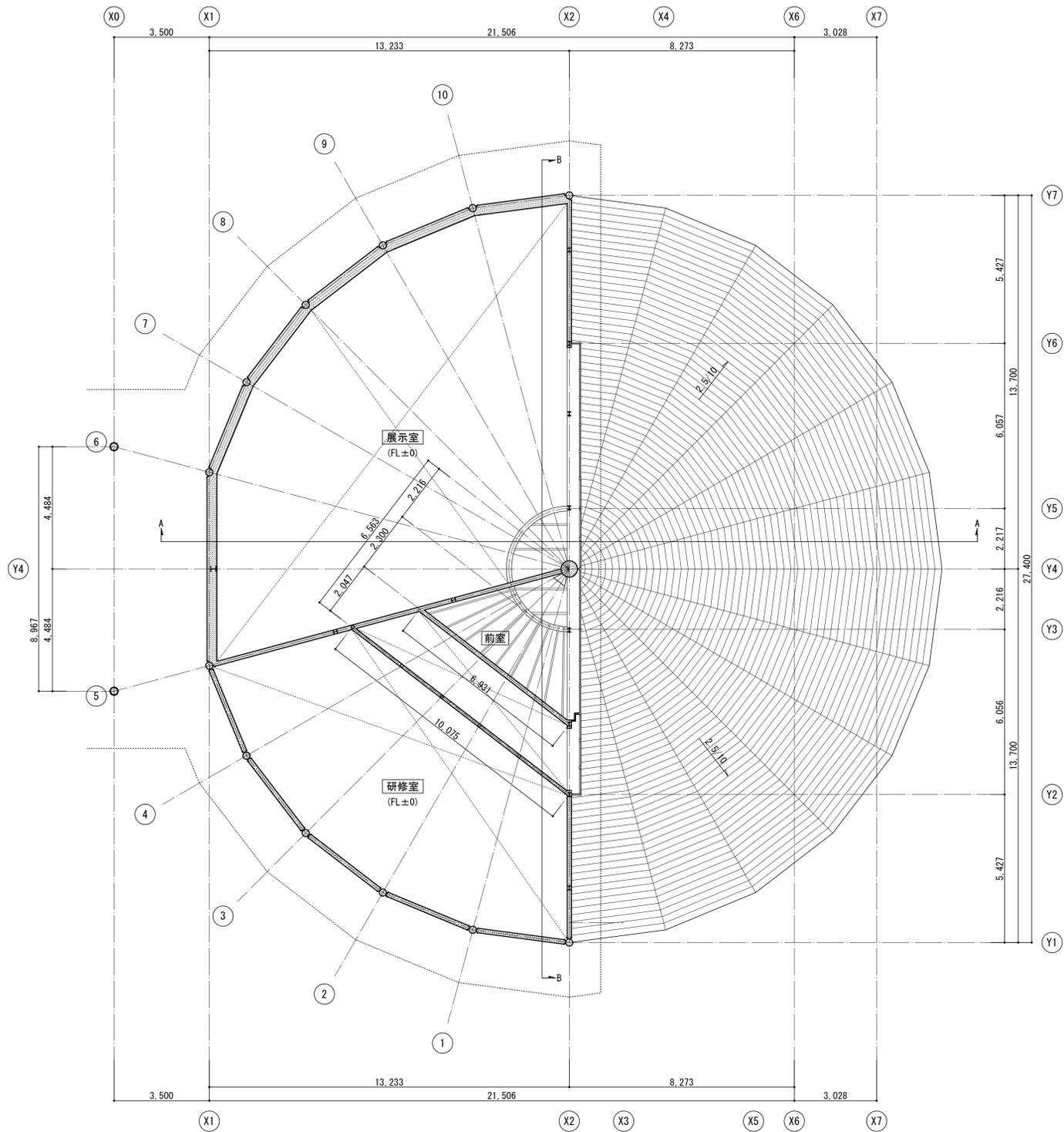
S = 1/100(A1)・1/200(A3)



凡例
 --- 改修室を示す
 ○ 化学物質の濃度測定箇所

○ 平面図(改修後)

S = 1/100(A1)・1/200(A3)



■ 凡例

*** 改修室を示す

上部平面図(改修前)

S=1/100(A1)・1/200(A3)

■ 凡例

*** 改修室を示す

上部平面図(改修後)

S=1/100(A1)・1/200(A3)